

風水害

ゆとりをもって早めの避難を!

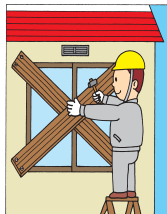
台風や豪雨の威力には計り知れないものがあり、人命や財産等に大きな被害をもたらします。自分の住んでいる地域の地形や地質をしっかりと把握し、日頃から気象情報には十分に注意しましょう。※水害のときには、道路と水路・田畑との境がわからなくなります。外出は控えましょう。



大雨や台風の際には

家の修理は事前に

屋根瓦のずれ、窓ガラスや外壁のひび割れ、雨どいのつまりなどを点検し、修理をしておきましょう。また、ブロック塀や板塀も補強しましょう。



家の周囲の安全対策

プロパンガスは針金や鎖でしっかり固定しましょう。風で吹き飛ばされやすい鉢植えなどは室内へ、不安定なアンテナも針金で固定しましょう。



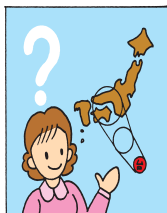
浸水対策を万全に

床上浸水の恐れがある家では、食料・衣類など生活必需品を、水のつからない高いところに移しましょう。水が入ってきたような所には土のうなどを積んで防ぎましょう。



気象情報をよく確認して

ラジオやテレビ、インターネットなどで台風の動きを確認しましょう。そして、台風の勢力範囲に入る前に防災対策や避難準備をしましょう。



いつでも避難の準備を

日ごろから停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオを準備しましょう。また、いつでも避難できるように非常持出品を準備しておきましょう。



避難するときの心掛け

避難するときは、二人以上ではくれないようにロープで結び、特に子供からは目を離さず、長い棒などを杖代わりにして水面下を確認しながら歩きましょう。

